

事務連絡
令和 6 年 12 月 3 日

地震火山観測研究計画実施機関 各位

文部科学省 科学技術・学術審議会
測地学分科会 事務局

地震火山観測研究における年次基礎データ調査について（依頼）

日頃より、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第 3 次）」の推進に
対するご協力を賜り、誠にありがとうございます。

科学技術・学術審議会測地学分科会では、地震火山観測研究における年次基礎データ調
査の取りまとめを行っています。つきましては、地震火山観測研究計画の実施機関を対象
に、当該調査を実施します。下記の要領により、貴殿の所属機関分の資料を取りまとめの
うえ、御提出をお願いします。

記

1. 調査項目【地震火山観測研究/関連分野研究に関する調査】

(1) 項目別の予算

- ・内部資金、外部資金等を細目別に記入してください。
- ・地震、火山の分野別に記入してください。また、共通の経費、切り分けが難しい経費
は「地震・火山の切り分け不能」の欄に記入してください。
- ・加えて、関連分野研究については「関連分野研究」の欄に記入してください。

対象：令和 4 年度補正予算、令和 5 年度当初予算・補正予算

※本計画は地震学・火山学の研究だけでなく学際研究として取り組んでいることを踏まえ、平成 26
年度より、関連分野に関しても調査を実施しています。

(2) 研究者等の人数

- ・職種別（又は雇用形態別）、年齢層別、性別毎に記入してください。
- ・地震、火山の分野別に記入してください。地震、火山双方の研究者、切り分けの難しい研究者は、「地震・火山の切り分け不能」の欄に記入してください。
- ・火山の研究者については、観測点の維持・管理にも携わり、火山噴火現象の解明・火山噴火予測研究を実施している研究者数についても調査を行います。
- ・関連する研究に携わる人数（実施機関、公募研究）の調査を実施します。分野別（歴史学・考古学分野、人文・社会科学分野、工学分野）に記入してください。

2. 様式

Excel ファイルの各シートについて、それぞれ該当する箇所に、数値の記入をお願いします。

- シート 1 地震火山関係研究・関連分野研究の予算額
- シート 2 地震火山関係の研究者数等
- シート 3 関連分野の研究者数
- シート 4 火山噴火予測関連研究者数

3. 提出について

(1) 提出期限：令和7年1月14日（火）厳守

(2) 提出方法

作成した資料を電子メールにて、測地学分科会事務局（jishinkazan@mext.go.jp）宛に送付をお願いします。

(3) 連絡先

文部科学省 研究開発局 地震火山防災研究課 久利、齊藤、永野
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL：03-5253-4111（内線：4137）
E-mail：jishinkazan@mext.go.jp

以上

「地震火山観測研究における年次基礎データ調査」にかかる調査について（補足）

●共通

- ・ 各シートには過去5年間分のデータを参考として記載しています。
- ・ 記入済みのデータに修正がある場合は、修正後の内容を赤字でご記入ください（見え消しは不要です）。
- ・ 各シートの報告事項に補足説明が必要な場合は、欄外又はコメントで記してください。

●シート1：地震火山関係研究・関連分野研究の予算額

- ・ 令和4年度補正予算、令和5年度当初予算・補正予算についてご報告ください。
- ・ 補正予算がある場合は、項目名を入力の上、「補正予算」欄にご記入ください。
- ・ 国立大学法人等の予算額のうち、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」の経費は内部資金「地震火山観測研究計画経費」に分類してください。ただし、私立大学は外部資金「その他外部資金」に分類してください。
- ・ 内部資金のうち、【地震】【火山】【地震・火山の切り分け不能】【関連分野】で厳密に算出するのが困難な経費については、部局全体の経費を研究者数で按分するなどの簡易な算出方法でも構いません。
- ・ 内部資金「基礎的研究経費」は、各教員・研究員へ配分される個人研究費（所属機関から当該研究者に対し、自由な研究活動の実施及び研究室等の運営のために支給される資金（又は使用可能額として示されるもの））をご報告ください。
※1人当たりではなく、【地震】【火山】【地震・火山の切り分け不能】【関連分野】で計上する人数分の額
- ・ 外部資金「競争的研究費」について、配分（再委託等）を行っている機関は、配分額（再委託費等）を差し引いてご報告ください。配分額（再委託費等）は、配分先（再委託先等）機関がご報告ください。
- ・ 関連分野研究について、観測研究計画に関連した分野融合による研究（研究内容が歴史・考古学分野、人文・社会科学分野、工学分野など）の予算についてご記入ください。
- ・

●シート2：地震火山関係の研究者数等

- ・ 令和5年4月現在（年度当初の異動を反映したもの）の、貴機関に所属する地震火山関係の研究者についてご報告ください。
- ・ 性別、年齢、職種別にご報告ください。
- ・ 「任期付き等」研究者については、非パーマネント研究者という位置付けの人数を調査しますので、「任期付き研究員＋（日本学術振興会特別研究員等の）ポスドク」の人数を報告してください。財源が安定財源であっても、当該研究者が任期付き雇用とわかる場合は「任期付き等」に計上してください。
- ・ 任期付き等研究者の調査は、政府機関では行いませんが、もし存在する場合には個別にご連絡ください。
- ・ 関連分野の研究者（後述）についてはシート2には計上しないでください。

●シート3：関連分野の研究者数等

- ・ シート2に計上していない研究者で、地震火山観測研究計画に関連した、分野融合による研究（古地震・古津波調査研究、地震火山防災研究など）の研究者（歴史・考古学分野、人文・社会科学分野、工学分野など）についてご記入ください。
- ・ 記載している4分野（歴史・考古学分野、人文・社会科学分野、工学分野）以外の研究者がいる場合（例えば、情報学分野など）は、「その他」の欄に分野名および人数を追記してください。

○「公募研究に参加する関連分野研究者数」

- ・ 公募を行っている機関のみご記入ください（公募に応じた側は記入不要です）。
- ・ 公募研究に参加する研究者のうち、建議計画実施機関以外の機関に所属する研究者の総数をご記入ください（シート2の研究者を除く。また、分野は問わない）。
- ・ 上記の研究者総数のうち、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」の公募課題に参加する関連分野の研究者数をご記入ください。

●シート4：火山噴火予測関連研究者数

- ・ 火山を研究している研究者のうち、観測点の維持・管理にも携わり、火山噴火現象の解明・火山噴火予測研究を実施している研究者の数をご記入ください。また、38行目以降に計上した研究者の氏名と役職の記載もお願いします。
（記載例：文科 太郎 教授 ）
- ・ その他、シート2の記入方法に準じて記入してください。

